



プラス通信

2008. 4月号

【その他大阪協会全体の予定】

- 2/17(日)大阪協会定時総会 大阪市阿倍野「市民学習センター」9:30~12:00
- 4/20(日) 第9回近畿審判講習会 大阪市中央体育館「剣道場」
- 4/20(日) 第11回大阪段位審査会 大阪市中央体育館「剣道場」
- 4/20(日) 第43回府連合同稽古(競技力向上) 大阪市中央体育館「剣道場」
- 5/25(日) 第34回全国少年少女大会 静岡県由比町
- 7/6(日) 全日本選手権大会 横浜文化体育館
- 7/27(日) 第17回近畿兼滋賀大会 滋賀県栗東市民体育館
- 8/31(日) 第4回大阪少年少女大会 岸和田市立中央体育館

毎日の練習子供たち本当頑張りますよ。大会(試合では練習の成果が「出ますよ」に)

ご入学
おめでとうおめでとう
進級
おめでとうおめでとう
新学期も楽しい
学校生活
送ってね。

「僕には人生の節目目で、あんな先生になりたいと尊敬できる師との出会いがたくさんありました。僕は本当に運がいいと思います」と話すのは、枚方市立第三中学校体育教諭の高宮敏光さん。

「物心ついた時には右腕がなかった。それが当たり前だから、特に困った記憶はありません」と振り返ります。

4人兄弟。一番上の姉
「ひのくに新世紀総体」で
玉名高校へは特待生で進学。生徒会長をも務めた。

一人ひとりの良さを引き出す教師に

志すようになりました。勉強も得意。専修大学
高宮敏光先生は、6歳から左手一本で竹刀を握り、2年の大阪学生剣道新人大会で優勝する。「やってやれないことはない。僕はそれを実践で伝えたい」。その強靱な意志の強さと、健全な精神を持つ隻腕の体育教師に私たちが学びたいと思う。



高宮敏光先生

同じように厳しい稽古を課しました。高宮さんの構えは左腕一本で竹刀を頭上に構える上段。竹刀を上げずに振り下ろすだけでいいからだ。「先生は僕の適性をきちんと見抜いて、一番合う構えを教えてください」と感謝します。少年剣士は先生に憧れて修練し、勝つ楽しみを覚えながら教師を志すようになりました。



「頭を使え、相手をよく見ろ！」一枚方三中剣道部の練習で

「自分がどれだけやるかを試したかった」と、大学は日本一厳しい稽古で知られる大阪体育大学の剣道部へ。2年の春、第35回大阪学生剣道新人大会個人の部に出場。試合はすべて延長戦にもつれ込むも、持ち前の粘り強さで悲願の優勝を勝ち取った。また、武道館で得意技の「抜き胴」を決めた瞬間には、拍手が大きな波となつて観客席を駆け回り、鳴り響いた。マスコミに取り上げられるお前を、情で出場させていると思われていたかも知れない。でも今日は結果を残してくれた。神崎浩監督の言葉に、うれし涙が止まらなかった。

「恐れず、何にでも挑戦させてくれた両親には感謝しています。片手で水泳や鉄棒に挑む姿は、自分の力を信じればできないことはないという実践そのもの。『まだ若いんだから、何でもできる』。生徒たちと真剣に向き合う高宮先生。『何事も挑戦せずにできるわけがなく、失敗してもやってみる価値はある』ことを教えていきたい」と話す。今まで自分が巡り合った指導者たちから学んできたように。

「夢は、かなう」わが身で実践
枚方市立第三中学校 高宮 敏光 教諭(23歳)

どんなスポーツでも言える事ですね。あきらめず努力する。マイライフ新聞より